

神 鋼 商 事 株 式 会 社

2026年度 第1四半期
決算説明資料

2026年度第1四半期 決算概況並びに通期業績見通し

ポイント

【事業環境】

- 日系自動車生産は前年並み、建材需要は低調ながら、半導体、脱炭素関連の需要は好調に推移

【業績サマリー】

- 自動車用アルミ板や半導体装置向けアルミ厚板の増加、脱炭素関連機器及びメンテナンスサービスの増加により増収増益
- 受取配当金の剥落影響があったものの、全ユニットで基礎収益が改善し、経常利益は前年同期比+8億円、四半期営業利益は過去最高を更新

【通期見通し】

- 足元の需要環境や市況、為替円安影響等を鑑み、通期業績・配当見通しを上方修正

(単位:億円)

	2025年度1Q ①	2026年度1Q ②	増減額 ③=②-①	増減率 ④=③/①	'26年度 通期見通し '26/5/13公表	'26年度 業績修正 '26/8/6公表	増減額	修正後 通期予想比 進捗率
売上高	1,477	1,769	+292	+19.8%	6,860	7,060	+200	25.1%
売上総利益	90	111	+21	+23.4%	-	-	-	-
販売管理費	68	70	+2	+3.5%	-	-	-	-
営業利益	22	41	+19	+84.1%	121	135	+14	30.3%
経常利益 (経常利益率 %)	29 (1.99%)	38 (2.13%)	+8 (+0.14%)	+28.3%	115	125	+10	30.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20	25	+5	+26.7%	90	95	+5	26.4%
通期配当見通 (円)	-	-	-	-	130	138	+8	-

CONTENTS

2026年度 第1四半期 決算概要

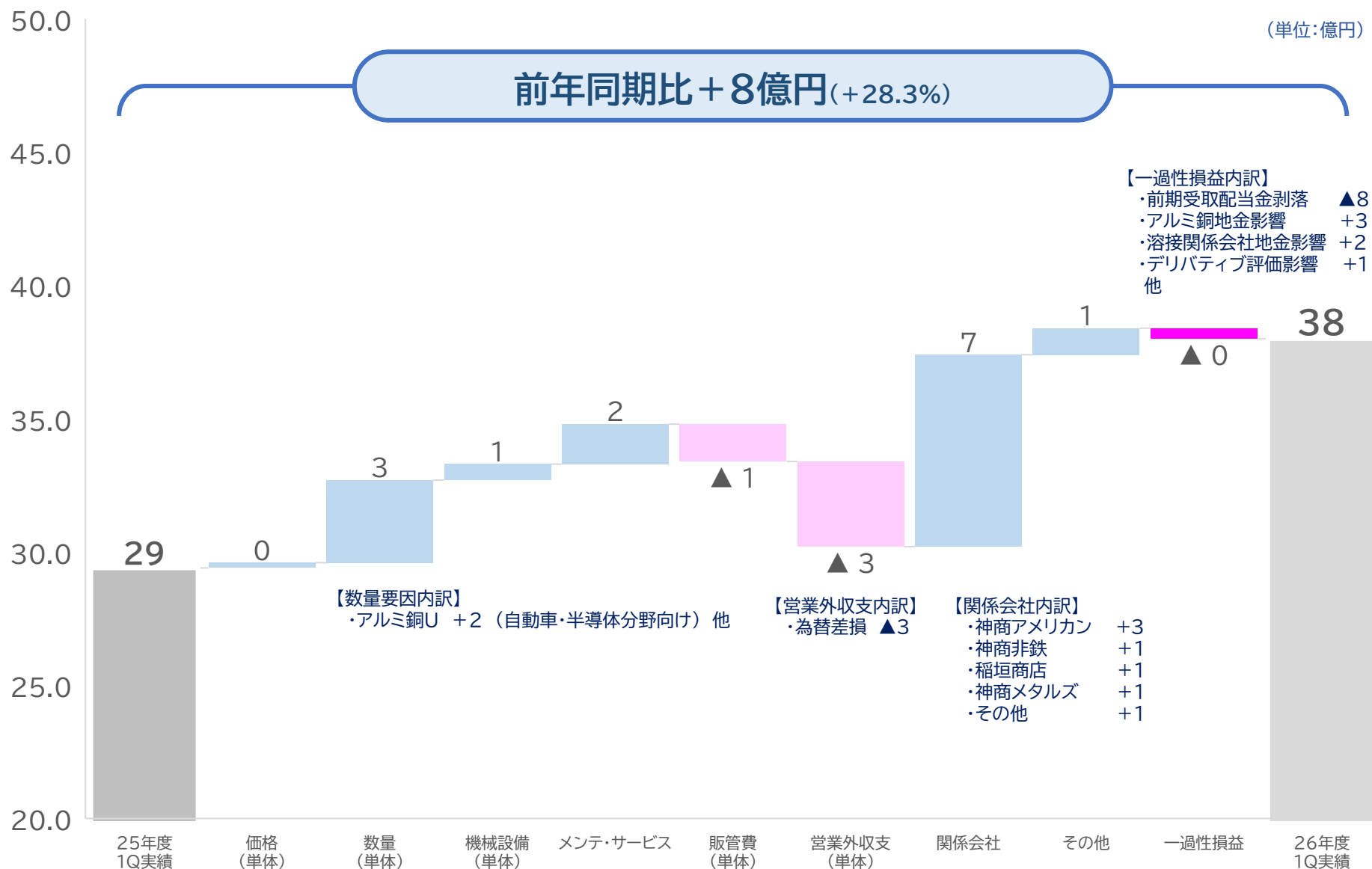
2026年度第1四半期 ユニット別経常利益(前年同期比)

(単位:億円)

		2025年度1Q実績 ①			2026年度1Q実績 ②			前年同期比 ③(②-①)			コメント
		基礎収益	一過性 (※)	連結 経常利益	基礎収益	一過性 (※)	連結 経常利益	基礎収益	一過性 (※)	連結 経常利益	
金属	鉄鋼	8	8	16	12	0	12	+4	▲8	▲4	前期受取配当金の剥落により減益なるも、関係会社の損益が改善
	アルミ・銅	8	▲1	7	9	3	12	+1	+4	+5	自動車用アルミ板や半導体装置向けアルミ厚板の増加に加え、地金影響もあり増益
	原料	1	▲1	1	1	1	2	0	+2	+2	主原料の増加及び価格の上昇、一方、スクラップ需要は軟調
	小計	18	6	24	22	4	27	+5	▲2	+3	
機械・溶接	機械	5	0	5	7	0	7	+2	0	+2	非汎用圧縮機サービス、冷熱・ヒートポンプ、中国向け圧延機用部品増加、長納期化で一部期ズレ
	溶接	1	0	1	3	2	5	+2	+2	+4	溶接機器の増加に加え、関係会社の収益化で増益
	小計	6	0	6	10	2	11	+4	+2	+5	
その他		0	0	▲1	0	0	0	0	0	+1	
合計		24	6	29	33	6	38	+9	0	+9	

(※)一過性損益・・・在庫評価、地金影響、為替評価、デリバティブ評価、のれん、特別配当、他

2026年度第1四半期 業績:全社 経常利益 前年同期比



バランスシートの状況

(単位:億円)

	2025年度 3月末	2026年度 6月末	増 減
流 動 資 産	3,302	3,499	+197
固 定 資 産	534	566	+32
内訳 有形・無形固定資産	112	115	+3
投資その他の資産	422	451	+28
資 産 合 計	3,836	4,064	+228
流 動 負 債	2,574	2,778	+204
固 定 負 債	253	243	▲10
負 債 合 計	2,826	3,021	+194
自 己 資 本	990	1,023	+33
非 支 配 株 主 持 分	20	21	+1
純 資 産	1,010	1,044	+33

外部有利子負債	534	581	+47
自己資本比率	25.8%	25.2%	▲0.6%
D/Eレシオ	0.5倍	0.6倍	+0.0倍
1株当たり純資産	3,746.0円	3,870.2円	
期末株価	2,292円	2,395円	
PBR	0.61倍	0.62倍	

CONTENTS

2026年度 業績見通し

2026年度 業績見通し及び事業環境

- ✓ 半導体関連需要は引き続き好調
 - ✓ 脱炭素関連機器・メンテナンスサービスが伸長
 - ✓ 鋼材価格は当初想定を上回る水準で推移
 - ✓ 為替は足元、想定比円安で推移
- 通期業績見通しは当初想定を上回る見通し



【事業環境】

業界	2026年度 当初想定		当面の事業環境	
自動車		日系自動車生産台数は、前年比、横ばいの見通し		日系自動車生産台数は横ばいの見通し 鋼材価格は値上げ予想
半導体		AI・データセンター・半導体製造装置向け製品は好調 自動車用パワー半導体向けの銅製品は依然低調		AI・データセンター・半導体製造装置向け製品は好調を維持 パワー半導体向けの銅製品は回復基調
資源リサイクル		冷鉄源は国内、海外ともに低調 国内アルミスクラップは、地金高騰の影響を予想		冷鉄源は国内、海外ともに低調に推移 国内アルミスクラップは、1Qにおいて地金価格が高水準で推移
エネルギー (バイオマス)		取引先の操業回復により、バイオマス燃料の取扱いは増加		取引先の操業回復により、バイオマス燃料の取扱いは増加

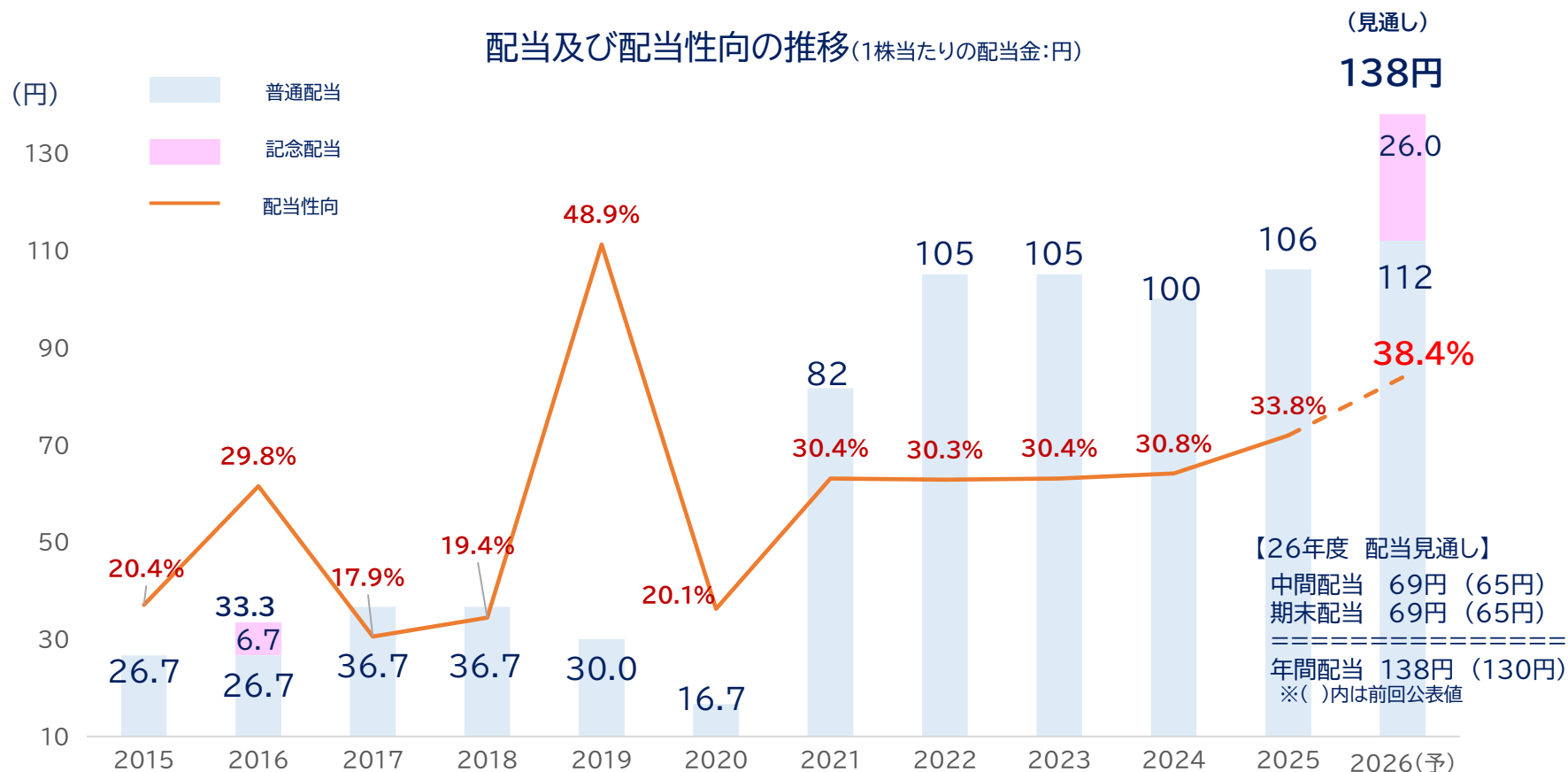
※ 事業環境想定は神鋼商事グループを取り巻く事業環境で、必ずしも一般的な事業環境とは一致しません。

2026年度 業績予想 ユニット別経常利益増減

(単位:億円)

		2025年度	2026年度 通期見通し '26/5/13公表	2026年度 業績修正 '26/8/6公表	前回公表比 業績修正値 増減額	増減率
金属	鉄鋼	47	39	40	+1	+2.6%
	アルミ・銅	28	27	32	+5	+18.5%
	原料	▲1	9	9	—	—
	小計	75	75	81	+6	+8.0%
機械・溶接	機械	31	31	35	+4	+12.9%
	溶接	6	9	12	+3	+33.3%
	小計	37	40	47	+7	+17.5%
その他		▲2	0	▲3	▲3	—
合計		110	115	125	+10	+8.7%

- 配当方針は、「連結配当性向 30%以上、または 1 株あたり配当100 円のいずれか高い方とする」としております
- 2026年度の年間配当金は、普通配当を前回公表値から8円増配の112円とし、創立80周年記念配当26円を加えて、年間配当138円とします（中間69円、期末69円）



※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2015年～2024年のグラフについては、3分割調整後のグラフとしております。

CONTENTS

成長分野における投融資 トピックス

3つの柱と成長分野における投融資等取組み状況

● 鉄鋼ユニット ● アルミ・銅ユニット ● 原料ユニット ● 機械ユニット ● 溶接ユニット ● 新事業推進室

主な事業分野

	KOBELCOグループ ビジネス	神鋼商事オリジナル サプライチェーン	新規事業推進
自動車	● インド/線材部品事業出資 実行済 ● 北米/線材二次加工強化 ● 商社機能強化 DX推進	● EV事業支援	
半導体・FPD		● 国内/アルミ加工事業 ● 中国/アルミ加工地産地消	
資源循環	● アルミ・ゾルバ屑 高度選別 決定済	● アルミ・サッシ屑 高度選別 稼働中 ● ベトナム/アルミ再生事業	
エネルギー	● 脱炭素 新商品開発	● 椰子殻(PKS) 海外ヤード 稼働中	● 国内/ブラック・ペレット事業 試運転中 ● 海外/ブラック・ペレット事業
ものづくりの現場	● 中国/工具コーティング事業 成膜装置拡大 稼働中	● インド/建機部品 生産増強 稼働中 ● ろう材製造事業買収 実行済 ● 流通再編	
その他			● ちとせ 藻類大規模生産 UMI 環境スタートアップ

国内初のブラックバークペレット(BBP)製造工場が愛媛県西条市で竣工

- ・2026年7月15日、当社が出資するローカルエナジーシステム/西条工場の竣工式を実施
- ・10月に商業運転を予定し、バーク(樹皮)を原料とする地産地消型の純国産バイオマス燃料を社会実装

事業概要

会社名	ローカルエナジーシステム株式会社
本社所在地	大阪府大阪市
株主	株式会社熊谷組 神鋼商事株式会社 清本鉄工株式会社
工場名	西条工場
所在地	愛媛県西条市
竣工	2026年7月
商業運転	2026年10月予定
敷地面積	12,000 m ²
製品	ブラックバークペレット
年間生産量	30,000 mt
原料	樹皮(バーク)

(ローカルエナジーシステム・西条工場)



(竣工式の様子)





当社含む産官学8社・機関がNEDO採択事業として、アルミスクラップの高度選別・前処理技術の研究開発を開始

・2028年度までに展伸材回収率80%超を目指した高度選別技術を開発、アルミスクラップの国内循環を拡大

【NEDO採択事業の概要】

事業名	アルミニウム再生地金製造技術開発事業
事業期間	2026年度～2028年度
研究内容	①樹脂との分離（パルス電流分離技術の開発） ②鋳物材との分離（AIによる高度選別の開発） ③合金種の分離（フィードバック制御による高度選別の開発）
Webサイト	「アルミニウム再生地金製造技術開発事業」の実施体制の決定について 公募 NEDO

【各社・機関の役割】

区分	企業・機関	主な実施内容
静脈産業 (リサイクラー)	サイ클ラーズ(株)、アサヒセイレン(株)など	原料調達、破砕、選別試験など
動脈産業 (圧延・押出メーカー)	(株)UACJ、(株)神戸製鋼所、三共立山(株)、 当社など	合金配合計算、装置開発、再生塊 評価、溶湯品質評価など
アカデミア	早稲田大学など	基礎技術開発など
業界団体	日本アルミニウム協会など	LCA(環境負荷)評価、企画化など



マテリアリティを新たに特定

2026年5月、「社会的価値」と「経済的価値」の両立による持続的な企業価値向上の実現に向け、当社グループが優先的に取り組む重要課題(マテリアリティ)を新たに特定



Environment

持続可能な資源利用への転換

リサイクル原料を利用可能な資源として循環させ、環境負荷の低減と持続可能な資源利用を実現

気候変動への対応

サプライチェーンの低炭素化を推進し、事業を通じた気候変動対策を強化



Social

イノベーションを通じた社会的価値ある製品・サービスの創出

社会課題を解決するイノベーションによって、経済的価値と持続的成長を生み出す

レジリエントなサプライチェーンの構築

変化やリスクに対応可能なサプライチェーンの構築を通じ、競争力向上を図る

自ら変化に挑む多様な人材の育成

自ら変化に挑む企業風土と誰もが活躍できる環境づくりの実現



Governance

実効性のあるガバナンスと質の高い経営の追求

牽制と対話によるガバナンス強化を基盤に、経営の質向上を図る

CONTENTS

参考資料



神戸製鋼所の全額出資により大阪・北浜に
太平商事(株)を創立
東京支社を設立

グローバル展開

1946

●流通系

2011年

- ・(株)マツボーを子会社化

2014年

- ・コベルコ筒中トレーディング(株)を子会社化

2015年

- ・KTN Co., Ltd.を子会社化

2016年

- ・中山金属(株)を子会社化
- ・エスシーウエル(株)を子会社化

米国、タイ、中国、インド等を中心にグローバル拠点を拡大

2010年代～

事業投資促進

2026年 創立80周年

100年
企業へ

●ものづくり系

2018年

- ・森本興産(株)を子会社化

2021年

- ・神商精密器材(揚州)有限公司を子会社化
- ・TRACK DESIGN INDIA 設立
アルミ水平リサイクル本格稼働

2022年

- ・脱炭素ファンドへの出資

2023年

- ・KTN METAL VIETNAMを設立
- ・ちとせグループへの出資開始

2024年

- ・アルミチャンバー合併会社設立(神商精密(株))
- アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・日本グラニューレーターを子会社化
- ・KGモータースへの出資

2025年

- ・アルミ建材スクラップ格上げ事業
- アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・Vesper Metals 設立
- ・ローカルエナジーシステム 事業参画
- ・神林科晶新材料(AIP受託成膜加工事業合併会社) 設立

2026年

- ・ろう材の成形加工販売会社・金属溶材(株)を子会社化

設立

1946 年

従業員数

1,518名(連結)
526名(単体)

※2026年3月31日現在
※臨時従業員数を含む

グローバル拠点

77 拠点

※2025年3月31日現在

グループ会社

国内19社／海外42社
計61社

※2026年3月31日現在

神戸製鋼出資

35.9 %

※ 神戸製鋼所とその子会社が、
当社株式を保有する比率

市場名

東京証券取引所
プライム 市場
証券コード： 8075

連結経常利益

110 億円

※2025年度実績

ROE・ROIC

ROE 8.7 %
ROIC 5.1 %

※2025年度実績

1株あたり配当金

2025年度
実績 106 円

2026年度
予想 130 円

※2026年度予想は、記念配当26円を含む

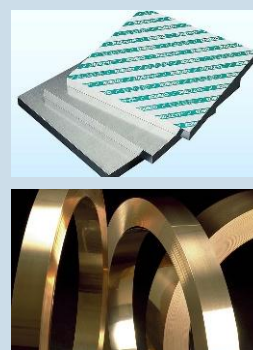
素材系

金属本部

鉄鋼ユニット



アルミ・銅ユニット



原料ユニット



機械ユニット



溶接ユニット

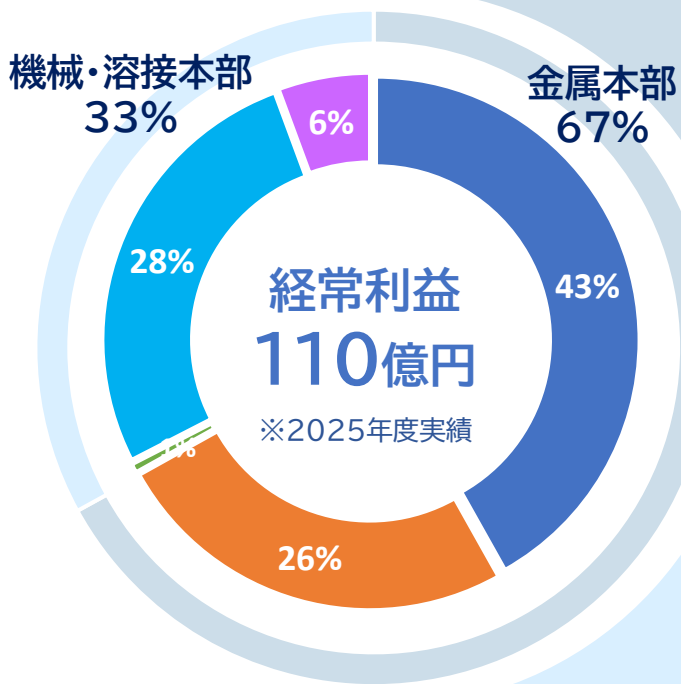


新事業推進室

社会的価値のある
サステナブル新規事業

機械系

機械・溶接本部



金属本部 (素材系)

機械・溶接本部 (機械系)

鉄鋼

アルミ・銅

原料

機械

溶接

- 鉄鋼製品のサプライチェーンにおいて必要不可欠な存在として、加工機能、デリバリー機能、物流機能に加え、需要家の海外展開へのサポートなど安定的なサービスを提供

- 安全・安心な供給力を基盤に、技術やサービスを組み合わせ「第二・第三の価値」を創出

- 長年培ったグローバルネットワークを活かし、安定供給を実現。
- メーカー商社として上流～下流までを熟知し、品質と付加価値にこだわった提案を実施

- 得意とするニッチな分野への専門性が高く、お客様のものづくりの課題解決
- サプライチェーン強化に向けた提案力を持ち、取扱商品を通じてCO2排出量削減に貢献

- 幅広い製品ラインナップと専門知識を活かし、あらゆる現場に最適な材料と技術を提供

事業領域

- 自動車
- 建設
- 造船
- 機械

- 自動車
- 半導体
- 家電
- スクラップリサイクル
- 液晶ディスプレイ

- 鉄鋼
- 電炉
- 発電所

- 化学
- エンジニアリング
- 建機
- 食品
- 金属
- 電気・機械関連

- 自動車
- 造船
- 建設機械
- 鉄骨
- 橋梁

主要取扱製品

- 線材・条鋼
- 厚板・薄板
- チタン・ステンレス

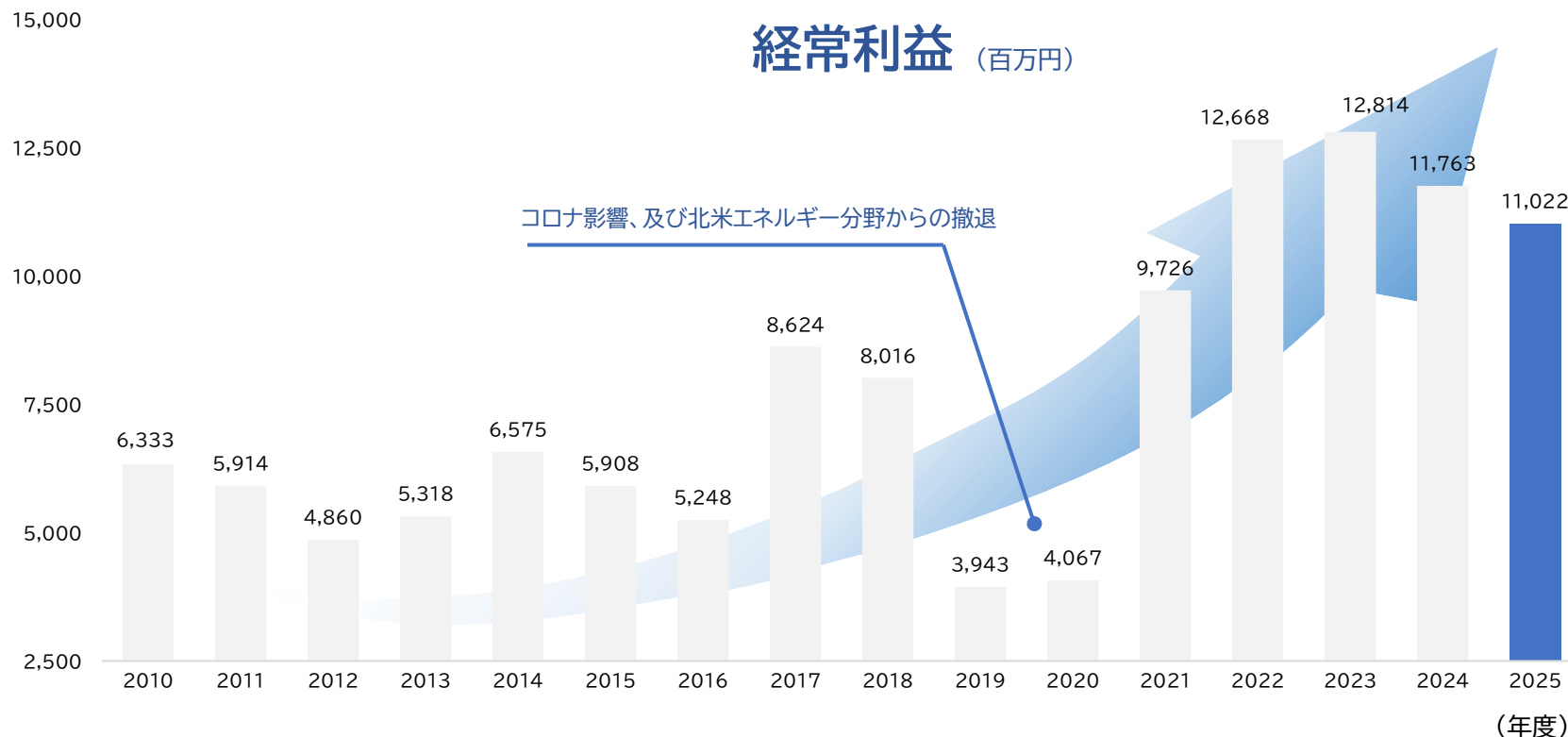
- アルミ製品
- 銅製品
- 非鉄原料

- 鉄鋼原料
- 鉄スクラップ
- バイオマス燃料

- 各種圧縮機
- 産業用機械
- 建機部品
- 電子関連機械・部品

- 溶接材料
- 溶接機
- 溶剤原料
- ロボットシステム

経常利益 (百万円)



2010年度
(2011/3月期)

2020年度
(2021/3月期)

2025年度
(2026/3月期)

2010年度対比

経常利益

63億円

41億円

110億円

1.7倍

純資産額

261億円

572億円

1,010億円

3.9倍

時価総額

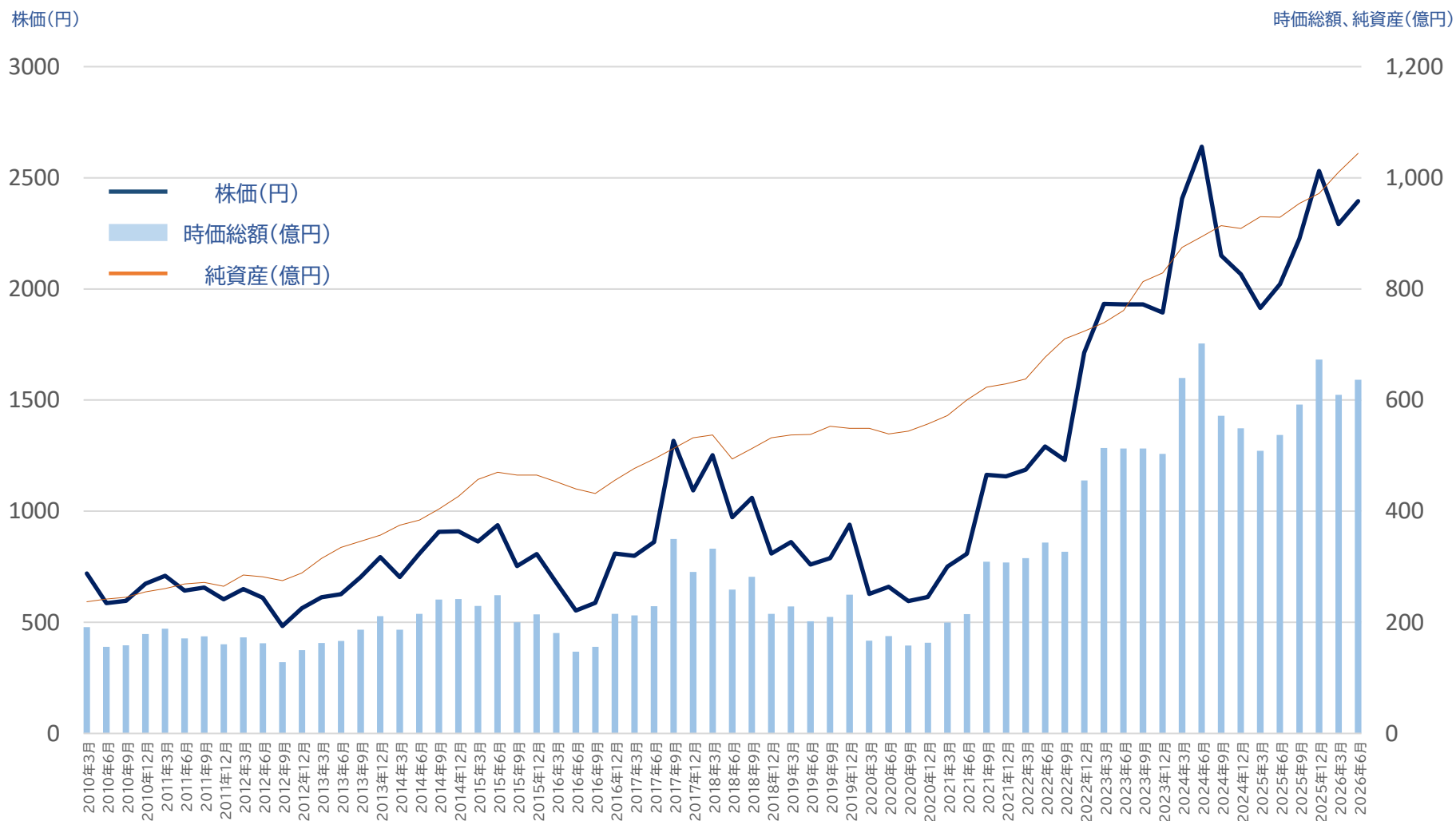
189億円

199億円

609億円

3.2倍

株価・時価総額の推移



※2016年10月1日に株式併合(10株を1株)、2025年4月1日に株式分割(1株を3株)しており、2010年3月～2025年3月までのグラフについては、調整後のグラフとしております。
(各月の終値ベース)

企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

パーパス

自ら変化に挑む
人の力で価値をつくり・むすび・ひらき
ワクワクする未来を創造する

本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。

お問合せ先：神鋼商事株式会社 総務部 IR・広報チーム



ir.shinsho@kobelco.com